

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 16日

事業所名 子どもの広場 高畑

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	机など大きな物を減らしてスペースを作っている	
	2	職員の配置数は適切である	3	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	3	ケガをした子どもがいるときは階段など職員が付き添い安全を確保している	現状は階段しかないため、今後ビルの管理会社と話してみるなどする
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	情報を共有し合い、支援の方向を考えている	
	5	保護者様等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	アンケートをもとに今後の支援などをきめている	アンケートへの質問の見直し
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	情報を共有できるようにしている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	0	定期的に市の実地指導があるので、指摘のあったところは都度改善している	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	支援に繋がる研修があれば参加し情報を共有している	更にスムーズに研修に行けるよう、人材を確保したい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	子どもや保護者と話し合いながら支援の方向性を決めている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	職員で話し合い活動プログラムを決めている	外部からの意見も取り入れられるようにしたい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	季節に応じて活動プログラムを考えている	外部からの意見も取り入れられるようにしたい
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	0	自由時間と学習時間の切り替えができるように時間割を作っている(特に長期休み)	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	バランスを考えながら活動を考えている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	前日の出来事も含め打ち合わせをし、情報を共有しながら役割を決めている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	打ち合わせをする時間がない時もあるので、メモをして次の日に共有できるようにする	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	気づいたことはすぐに記録に記入するようにしている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	0	相談支援の方の協力も得て行っている	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	1	一人ひとりに合う支援を考えている		

関係機関や保護者様との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	児発管や児童のことをよくみている職員が対応するようにしている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	0	学校にアンケートを配布し学校での様子を把握できるようにしている	学校によって情報共有がどこまでできているか差が出ているので、今後関係性が薄い学校とはできるだけ関係を密にしていきたい
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	今のところ医療的ケア児の利用はないが、協力医院とはいつでも連絡がとれるようになっている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	3	現状就学前に行っていた保育園や幼稚園と連絡はとれていない	保護者からの情報のみなので、今後連携をとってほしいと思う
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	0	現状移行する事例がない	今後移行があった場合は、情報を提供していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	発達障害者支援センターの研修に積極的に参加している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	デイサービスとしての交流はないが、トワイライトスクールを利用してもらい交流ができる機会を増やせるよう声をかけている	デイサービスのプログラムの一環として障がいのない子どもたちと交流できる機会を今後考えていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	0	月に一回程度部会に参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	子どもだけではなく、保護者の考えや希望も聞き今後の支援を伝えている	
	29	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	3		現状できていないが、今後検討していく
保護者様への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	契約時に説明をしている	
	31	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	その都度職員内でどのような支援がいいか話し合っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者様同士の連携を支援している	0	3		現状実施できていないが今後検討していく
	33	子どもや保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者様に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	当日中に職員間で共有し、対応するようにしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者様に対して発信している	3	0	ホームページに送るための資料を本部に送っている	
	35	個人情報に十分注意している	3	0	個人情報が入っているものは必ず鍵付きの棚にしまっている	
	36	障がいのある子どもや保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	連絡帳を通じて保護者とのやり取りをしている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	地域のお祭りに子どもたちが参加している	今後彩樹方と協力してできるといい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者様に周知している	3	0	定期定期職員間で確認している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	月に一回避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	研修の中で虐待に関する話しがあればその都度職員と共有している	今後虐待に関する研修があれば積極的に参加していきたい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1	契約時に保護者に説明をしている	定期的話し合い職員間で共有していきたい
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	3	今のところアレルギーの子どもは利用していない	今後アレルギーのある子どもが利用する際に改めて職員で話し合っていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	その都度記入し、情報を共有している	